

記入例見本：網掛け部分が記入・変更するところです。

平成31年 2月10日

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

会 長 八木原 罔明 殿

〇〇県 山岳連盟（協会）

会 長 世界 太郎 印

※どちらかを選択

『平成30』年度公認(山岳 or スポーツクライミング)指導員認定申請書

平成30年 4月17日付により委嘱された指導員養成講習会及び検定会を別紙により実施いたしました。

については下記の関係書類を添えて認定を申請いたします。

別 紙	指導員養成講習会及び検定会実施結果報告書検定会報告書	1 部
別添書類	1. 認定申請者一覧表	1 部
	2. 認定申請者山歴書 or クライミング 履歴書	各1通
	3. 検定会得点表	1 部
	4. 学科問題（模範解答付）	1 部

『平成30』年度(山岳 or ｽｰｯｸﾗｲﾐﾝｸﾞ)指導員養成講習会及び検定会実施結果報告書

岳連名 ○○県山岳連盟

主任検定員名 日本 四朗

印

養 成 講 習 会 及 び 検 定 会 の 内 容	無 雪 期 の 登 山 技 術	養成講習検定月日	平成30年10月1日 ~ 平成30年10月2日	
		養成講習検定場所	日立市神峰山~高鈴山、本山キャンプ場周辺	
		検 定 員(資格)	日本四郎 (上級指導員・A級主任検定員平成24年度取得)	
			日本太郎 (上級指導員) 日本二郎 (指導員)	
		講 師	日本四郎 (上級指導員) 日本太郎 (上級指導員)	
			日本二郎 (指導員)	
	実 施 内 容	検 定	歩行技術、テント泊、生活技術、岩場の通過 (ロープの結び等)	
		講 習	上記に対す知識、基本動作、危急時の対応などの講習および指導法	
	積 雪 期 の 登 山 技 術	養成講習検定月日	平成31年1月22日 ~ 平成31年1月23日	
		養成講習検定場所	栃木県那須 茶臼岳 周辺	
		検 定 員(資格)	日本四郎 (上級指導員・主任検定員平成24年度取得)	
			日本太郎 (上級指導員) 日本五郎 (上級指導員)	
講 師		日本太郎 (上級指導員) 日本五郎 (上級指導員)		
実 施 内 容	検 定	冬山の基礎知識、クランポンなしの雪上歩行、クランポン歩行、滑落停止、耐風姿勢、緊急避難法		
	講 習	上記に対す知識、基本動作、危急事の対応などの講習および指導法		
基 礎 理 論 及 び 学 科	養成講習検定月日	平成30年9月1日 ~ 平成31年1月23日		
	養成講習検定場所	水戸市民会館		
	検 定 員(資格)	日本四郎 (上級指導員・A級主任検定員平成24年度取得)		
		日本太郎 (上級指導員) 日本五郎 (上級指導員)		
	講 師	日本太郎 (上級指導員) 日本五郎 (上級指導員)		
実 施 内 容	検 定	指導員制度、読図、気象、医学、登山計画、生活技術、法律、遭難対策などに関する学科試験		
	講 習	上記項目に自然保護などを加えた基礎理論の講習		
備 考				

養成講習及び検定内容を詳細に記入のこと。※スポーツクライミングは

『平成30』年度 (山岳 or ｽﾎﾟｰﾂﾄﾗｲﾐﾝｸﾞ)指 導 員 認 定 申 請 者 一 覧 表

岳連名 〇〇県山岳連盟

NO.	ふりがな 氏 名	性別	生 年 月 日	所 属 団 体	住 所
1	サンガク タロウ 山岳 太郎	男	1972. 1. 5	〇〇山の会	〒123-1234 東京都渋谷区神南1-1-1
2	サンガク ジロウ 山岳 二郎	男	1964. 3. 6	〇〇山の会	〒123-1234 東京都渋谷区神南1-1-1
3	サンガク サプロウ 山岳 三郎	男	1939. 8. 12	□□山岳会	〒123-1234 東京都渋谷区神南1-1-2

山岳指導員認定申請者山歴書

氏名 山岳 太郎 印

	夏 山 (無 雪 期)			冬 山 (積 雪 期)			岳連・山岳会等の役員経歴
	山行月日	山名・コース・ルート	役 務	山行月日	山名・コース・ルート	役 務	
2014年	8/12~16	北アルプス：中房温泉～燕岳～大天井～槍ヶ岳～槍沢～横尾	食糧	3/20~21	八ヶ岳：文三郎尾根～赤岳～地蔵尾根下降	SL	庶務
2015年	8/10~13 8/19	北アルプス：横尾～涸沢～奥穂高岳往復 丹沢水無川本谷遡行	SL	12/30~1/1	南アルプス塩見岳：三伏峠～塩見岳往復	SL	会計
2016年	8/13~16	北アルプス読売新道～赤牛岳～槍ヶ岳縦走～槍沢下山	CL	12/30~1/1	北アルプス五竜岳：遠見尾根～五竜岳往復	CL	会計
2017年	10/4~5 10/19~20	谷川連峰：ナルミズ沢遡行 奥多摩：三峰神社～雲取山～石尾根下山	CL	5/2~5	北アルプス槍ヶ岳：横尾～槍沢～槍ヶ岳往復	CL	指導委員会
2018年	8/12~15	北アルプス：烏帽子岳～穂高岳縦走 ザイェングラート～横尾下山	CL	3/20~21	八ヶ岳：文三郎尾根～赤岳～横岳～赤岳鉱泉	CL	指導委員会

※ 検定会までの夏山（無雪期の登山経験が5年以上）、冬山（11月から5月までの雪山登山経験を3年以上）の経験が判るように記入の事

※ 役務欄には、リーダー経験が3年以上ある事が判るように、L(リーダー)、SL(サブリーダー)などを記入の事

※ 山名・コース・ルート欄には、入山地、コース、下山地が判るように記入の事

私は、下記のとおり受講条件の5.10a以上のリード、指導実績2年以上および20歳以上を満たしています。氏名 日本 太郎 印

【クライミング履歴】※リードは、5.10a以上、ボルダリングは、5級以上を3ルート以上記入のこと

年 月	ルート名及び岩場名	形状・内容 *1	グレード	スタイル *2	備考
2015年6月	ABCクライミングジム	F・S・C・B	5.10a	OS・RP	
2015年7月	小川山 レギュラー	F・S・C・B	5.10c	OS・RP	
2016年9月	小川山 ブラックアンドホワイト	F・S・C・B	5.10c	OS・RP	
2017年11月	笠置山 竜虎	F・S・C・B	5級	OS・RP	
2018年3月	西日本クライミングジム	F・S・C・B	5.11a	OS・RP	

*1-F:フェース、S:スラブ、C:クラック、B:ボルダリング。*2-OS:オンサイト、RP:レッドポイント。

※5年以内の履歴を記入のこと。形状・内容は片寄らず、多様なクライミング技術が判る様な履歴。ルートは認知度の高いものが望ましい。

【競技履歴】※必須ではない

年 月	主催	大会名	カテゴリー	成績	備考
2017年5月	習志野市	習志野市民カップ	一般男子	一般男子2位	

【コーチ・監督・指導履歴】 ※人工壁、クライミングジムでの指導実績も記入可能

年	自由表記 例) ○○国体成年男子監督、○○講習会講師 etc
2016年	ABCクライミングジムにて初心者講習会2月～11月
2017年	西日本クライミングジムにて、リードクライミング講習会講師5回